

かじき 広報

№.273
昭和52年

12月号

発行/加 治 木 町
 編集/総 務 課
 印刷/吉 屋 印 刷

木枯らし吹きすさぶとき
 わらこづみのかげで遊ぶ子ら



木田，たんぼで

◆メモ 人口 / 21,380 男 / 10,142 女 / 11,238 世帯 / 6,909 (52年11月1日現在)

第19回町美術展

子どもたちの六百三十五点を展示
図工・習字など

町長賞に花牟礼・大塚くん



絵画に見入る観覧者

第十九回町美術展は十一月十一日から十三日までの三日間、町福祉センターで開かれました。会場には「美術の秋」にふさわしい力のこもった作品六百三十五点が展示され、観覧者の目を楽しませました。

作品は小・中学生の図画、習字工作をはじめ一般の絵画、写真などで、これらのなかには指宿養護学校加治木分校で筋ジストロフィーの難病と闘いながら、力作を寄せた子供たちの作品五十七点もあり入場者の感動を呼んでいました。初日（十一日）は入賞者の表彰式があり、熊瀬英次教育長は「今年もたくさん的小・中学校の皆さんが参加され、特に本日特別賞を受けた皆さんは、かねての努力が実った結果です。来年もがんばって今年以上の作品をだしてください。」とあいさつ、審査員の先生方の講評並びに賞状と副賞を贈って健闘をたたえました。

三日間の入場観覧者は約二千人、加治木町民の約一割弱が美術展を見たこととなります。

〔講評〕

習字：努力された点はみえていたが、気をつける点は①うちどめはねをはっきりとする②紙の質と大きさに合った字を書く③もつと練習を重ねる（何枚も書くこと）④墨のつけぐあいを考える。

図工：①物を見るとき心がけが大切（頭で見る、目で見る、心で見る）②中心になるものをとらえて周囲を考える③色の使い方を考える（注意深く観察すること）

特別賞、奨励賞の入賞者は次のとおりです。

▽町長賞

毛筆 花牟礼透（加中三）

デザイン 大塚泰史（柅小六）

▽教育委員会賞

毛筆 右田敦子（加中二）

描画 小谷哲司（加中二）

▽議長賞

毛筆 徳永吉彦（加中二）



からだの不自由さを克服して得た議長賞を受ける宮城恵子さん

わが子の作品はどれかな？



▽商工会長賞

硬筆 はらやすゆき（柅小二）

工作 神園弘文（竜小五）

▽農協長賞

毛筆 大園奈保子（加中三）

描画 山元吉典（錦小二）

▽南日本新聞社賞

毛筆 岩元聡美（錦小六）

描画 向江重洋（永小二）

▽南日本書道会賞

毛筆 重留祥一（柅小五）

▽奨励賞

毛筆 渋谷友美（柅小三） 寺園

明美（同三） 岩元あゆみ（竜小三）

前田まり子（柅小四） 丸野由梨子（同四） 赤崎秀成（錦小四） 荒川

由紀子（柅小五） 大宮路友洋（永小五） 岩崎友裕（錦小五） 田辺泰

子（柅小六） 篠原伊津子（加中二） 渡辺香代（竜中一） 田中由美子（

加中一） 外村富士美（永中一） 養毛成美（加中二） 瀬戸山ひとみ（

同二） 大宮路千早（永中三） 東みどり（同三） 野元佳代子（加中三）

長位謙二郎（指養中一）

措画 いなどめひとし（錦小一）

佐藤正彦（柅小二） 北原たかし（

錦小三） 内村大一郎（柅小三） 吉田賢二（竜小四） 樗木真由美（永

小五） 猪目英男（竜小六） 吐合美智恵（指養六） 終原健（加中一）

峯元宏志（指養中二） 新坂上浩子（同二） 内村恭司（竜中二） 新昭

二（永中二）

デザイン わたなべひろゆき（

柅小一） たじまこうじ（同二） 後藤啓太（同三） 渋谷みちよ（錦小

四） 白尾ますみ（柅小四） 林崇章（柅小五） 田中由美（永小五） 杓

岐誠（加中二） 塩屋弘美（加中二） 工作 とくべたけし、とうのき

まさよ、うちむらいづみ合作（竜小一） 川原たかあき、はなむれの

りこ、ひがしかわうちみほ合作（同二） 岩穴口哲郎（同三） 地久里

康弘（同四） 内村裕二（同六）

絵画 今村晴幸（加中三） 大園奈保子（同三） 島袋和也（指養中

三）

硬筆 のもといく子（柅小一）

年末年始の防犯心得

常に心の戸締まりを

「千七百二十二億円」―これは昨年一年間に盗まれた現金や宝石、株券、美術品などの被害総額です。このうち被害者の手に戻った回復額は七百五十一億円で、あとの九百七十一億円はもどりませんでした。戦後の三十年間で集められた「赤い羽根募金」の総額（一千

ひったくりのかせぎとき被害に遭わない六カ条

億円）に匹敵する額が、わずか一年の間で盗まれたのですから、私たち一人ひとりには、ドロボロ対策と真剣に取り組まなければなりません。

- ① 夜間は、明るく人通りの多い所を通る。
- ② 無灯火の自転車、オートバイ



- ③ ハンドバックなどはわきにかかえて、車の通らない方の側にしっかりと持つ。
- ④ 大金を持ち歩くときは、はだ身につけ、周囲の人に気をくばりなるべくタクシーや車を利用する

- ⑤ 自動現金支払い機から現金をひき出すときは周囲の人に気をくばる。
- ⑥ 万一にそなえ、一〇〇番ザーなどの防犯器具を携帯する。

もし泥棒に入れたら現場はそのままで一〇〇番へ「家に帰ったら、あき果ねらいにいくわした」「目をさましたら泥棒が枕元に立っていた」



宇留島さん

道具を大事にしよう

垂之口 宇留島 功

はあるが指導者として立派なことを言っている彼のことを考えればただただおどろきであった。私が使っている工作道具は、打つ、切る、けずるなど一つの役しか担っていない。店には二役、三役、或いは万能何々と言ったものもあるがろくなものはない。家

「おい」と、友人を訪ねたら小屋の補修中だった。

ひょいと用具を見てびっくりした。ペンは歯こぼれした上ひどい打撲傷を負っている。「こんな道具では仕事にならんだろ」といつてみると「何とかねえ」だった釘抜き、金槌、針金細工をこなし

ているという。我々もやることで

庭工作の道具は毎日使わないものが多いが、充分に備え兼用を避け手入れ保管に心配りが必要だと考える。

「包丁を砥いであげましょう」「砥石はありません」

「包丁の刃こぼれは、どうするんです」「使えなくなったら、また買います」

とくに大金を持ち歩く機会の多い年末は、「ひったくり」のかせぎ時です。ひったくりは、大金の入ったあなたのカバンや、ハンドバックを路地のかげや車の中からねらっているのです。暗い所、人通りの少ない所、銀行、農協、郵便局の行き帰りなどは、特に危険です。ひったくりにあわないよう次の点に注意しましょう。

- ① 大金は家におかない。やむを得ずおく場合には、気づかれないようなところへしまふ。
- ② 株券、債券、不動産権利書類、宝石など貴重品類は銀行の貸金庫などに預けておく。
- ③ 預貯金通帳と印鑑は別々のところにしまっておく。
- ④ また、預貯金通帳や貴重品の番号、型、特徴などを記録しておく、万一の場合には捜査に役立ちますし、被害品が返ってくる率が高くなります。

現金・貴重品の保管

日ごろの用心三カ条

- ① 泥棒は、現金や貴重品をねらっています。被害を少なくするためにも日ごろから次のようなことに用心しましょう。
- ② 現場は、泥棒をつかまえる手がかりになります。開かれたドア、タンス、ちらかったものはそのままにして、足跡、泥などが落ちていても掃いたり、ふいたりしないこと。

泥棒が、ほかの部屋にいるのを見つけたら、家をぬけ出し、近所の助けを求めて一〇〇番するようにしましょう。

◆農業委員会だより◆

農業委員
研修視察から

その②完

十一月の広報では福部村を紹介しましたが、今回は大山町を紹介いたします。

大山町の概要

大山町は昭和三十年九月に高麗村と所子村が合併し、大山町が発足、また、同年十一月に大山村が合併し新大山町が誕生した。

南北一八〇キロ、東西一〇〇キロの南北に長く、北は日本海沿岸から南は中国山脈の最高峰の大山まで続いて、国立公園の主峰大山のある町で、特に観光と産業文化の花咲く町を目指しながら農政面については、土地基盤の整備と近代化を進める一方、住民福祉の充実と教育文化の振興など積極的に進め

特に自然保護と観光施設との調和のとれた施策をすすめ、全町民が豊かで明るく、住み良い近代農村の建設を目標に町政をすすめています。



熱心に研修する委員たち

る。

人口の動態

大山町の総戸数一八三八戸、人口七七八七人、内農家戸数一二九戸で約七〇％に当ります。またこの内専業農家は二一八戸で一七％、第一種兼業農家は二一戸の四八％、第二種兼業農家は四六〇戸の四八％である。総人口も昭和二十五年度（一〇〇五八人）をピークに、年々減少を続けて最近ではＵターン組が増えている。また、最近町外転出者が減少したことなどによってやや落ちついて、昭和五十年度は七、八七七人と横ばいの状態を示している。

農業の概況

農業は地形的に北は日本海沿岸南は中国山脈と、ちょうど北部地区と南部地区とに二分されている。耕地率は全体の約六〇％を示す。

て、その内水田が約八〇％に当る九五三〇、畑地は二五四〇で水田の比重が大きい。なかで営農類型としては、米十酪農・米十たばこ十野菜・米十豚と複合型で、一戸当り平均経営規模は九・九アールとなり経営規模は大きい。

構造改善事業

大山町は比較的農家の経営規模が大きいことと、米子市との近効農村地帯であることから、地域内の農地を基盤整備しながら、農地の集団化を促進し大型機械等を導入して農家の経営安定をはかる目的で、昭和四十七年に県営ほ場整備事業を実施、継続事業として昭和五十三年度までに事業を完了する計画である。この事業が完了すると約六〇％のほ場整備が終ることになります。

事業の推進に当たっては、いろいろな苦情が多かった。特に地権者の同意を得ることが困難であったが、精力的に推進し、或る地権者については一〇四回も相談に行きようやく同意してもらったと言う貴重なる体験談を含め、町長が説明してくれました。町当局の熱意に感銘した。

▽主要農産物の実績

作目別	金額
米	797,347
たばこ	672,948
園芸	56,435
和牛	129,196
酪農	194,538
養豚	392,186

意見

大山町は米子市の近効農村地帯でありますので、地域内農地の整備と近代化をはかりながら、今後は特に施設園芸等に力を注いで観光と農業との調和を維持しながら名実共に発展する事を期待する。

感想

鳥取県の二か町村を研修した感想として、まず、行政と農家とが時代の変遷に対応し、行政と一心一体、車の両輪の如く農政活動に取り組む、また、耕地の維持管理については常に土地の高度利用を図り生産性向上に努力している。

このことから考えますと、両町村とも水田の休耕田がない事と整然と耕作している事に驚いた次第です。また、両町村とも観光に恵まれているので、その調和をはかりながら特に、流通面については



たわわに実った梨園で

防災7カ条

火災は人災

防くはあなた

- ① 自分が使う火は、消すまで責任をもち、その都度安全を確認しよう。
- ② 寝る前に、もう一度火の点検をしよう。
- ③ 寝たばこは絶対にやめよう。また、させないように。
- ④ 幼児・老人だけを残して外出することは極力さけよう
- ⑤ 幼児・老人の安全な避難方法を考えておこう。
- ⑥ 幼児・老人の就寝場所はできるだけ出入口、階段に近い部屋、救出の容易な場所に
- ⑦ 出入口、階段、廊下などの通路には物を置かないこと

農業協同組合との一体化を推進し計画生産および出荷と合わせ有利な販売を基調とし、畜産部門と耕種部門とを結ぶ複合的経営を目標に、農家の健康管理と生活改善に留意しながら、住み良い農村社会を築くために精意努力している当局的熱意に敬服いたしました。

特に研修視察を終えて、本町がたゞいま推進しております十三塚原畑総事業を地権者の協力を得てどうしても成功させ、本町畑作経営に積極的に取り組み、よりよい農村社会を築くために農業委員会も精意努力することをお約束し研修の報告いたします。

完

話題

一段と増した

芸能発表

第11回
高度な作品に感嘆
町文化祭

第十一回町文化祭は、十一月二日から三日までの二日間、福祉センターを主会場にエビスヤ会場で開かれました。

会場には、書芸をはじめ手芸、盆栽、名石、生花など盛りたくさん的高度な作品が展示され、ホール舞台では文化祭の見物である芸能発表会がありました。

今回は特に三味線による演奏が初めて発表され、他の芸能と共に花をそえました。



初参加の三味線グループ

邪心を除きに向う礼射



エイ!! かけ声も勇ましく



第10回
義弘公奉賛武道大会
総勢一千五百人が参加

義弘公奉賛武道大会は十一月十二日、日本山にある精矛神社境内と加治木高校体育館で開かれ、

心のかよった近代生け花



大勢の人でにぎわいました。

同大会は今年で十回目、剣道・弓道においても年々参加者も増え、剣道で一八チーム(八二六八)弓道で三三チーム(一七八八)が日頃の技を競いました。

成績は次のとおりです。

剣道Ⅱ小学校の部：①富隈小A
②菱刈小A③吉野小スポーツ少年
団▽中学校の部：①牧ノ原中A②
準人中A③牛根中A▽高校の部：
①鹿兒島高校②鹿兒島工専A③加
治木工業A▽一般の部：①国分自
衛隊A②加治木警察署③蒲生町B
弓道Ⅱ中学校の部：①蒲生中②
竜門中A③竜門中B▽高校の部：
①加治木工業A②鹿兒島工専③鹿
兒島商業A▽一般：①清風館A②
加治木町役場A③日吉弓友会。

税務署で一日体験

町商工会婦人部代表

十一月十一日から一週間行われた「税を知る週間」行事の一つとして加治木税務署は、このほど、町商工会婦人部の代表を招き、一日署長と統括官を委嘱。税務署の業務内容など体験してもらった。

一日署長に委嘱されたのは、本町の坂元ヒロ子(四四)さん。統括官に阿久根シヅエ(五五)さんをはじめ、森岡典子(五五)さん、草野陽子(五五)さん、林聡子(五五)さんが委嘱され、それぞれ法人や間税課などの業務で学習した。

体験学習した後、五人は「日常生活のため税金がどのように使われているか、納税の大切さがよくわかりました」と感想を話していました。

大変ご苦労さまでした。



一日署長の坂元ヒロ子さん

活動報告をする岡村裕二くん



一層の充実発展を

錦江子ども会大会

子ども会活動を今まで以上に充実させようと、このほど錦江校区子ども会大会が錦江小体育館で開かれました。

今年は町内各校区とも会則や組織の見直し、運営等の改善が積極的に進められています。錦江校区の子ども会関係者は学校の先生方とも充分連携をとりながら、子どもたちの健康育成に一生懸命がんばっています。

その活動の一環として、各部落子ども会の活動状況等を発表しあい、一層の充実発展を図ろうと子ども会大会が開かれたものです。

発表では、県立青少年研修センターでの宿泊研修の模様や六月燈十五夜の行事など次々に報告されました。

町連合婦人会

農村の

疾病と栄養

熊本の小山和作先生

講演より

◆婦人会だより◆

農村医学研究会(熊本)

農協や婦人会を通して農村を研究の場に：①昭和三十七年売血がなくなり献血がはじまる。農村は五割が献血できない。②農村婦人の四人に一人は貧血です。四十代に貧血が多い。③農村婦人の三人に一人は、ふとりすぎです。④農村婦人の四人に一人は高血圧です(五十一年度)⑤農婦症⑥肩が痛い、腰が痛い。⑦寄生虫⑧医学は発達し、病院はふえる。

病気の医学より健康の医学へ

健康管理 予防医学

①健康—予防医学：早期発見、健康を知る(自分で気付いて対策を)
②処方

生活の歪を直す

一、食の歪み：①塩—食品添加物 化学調味料 ②砂糖や飲料水にも多い—骨が弱い、糖尿病、心臓、肥満、消化器、神経痛、貧血がな

おらないまま肥満になる③白米

—麦をいれる、玄米には外に隣がある、よくかむ、おかずを考える

④野菜—堆肥をつかった野菜、食べる野菜、つくる野菜。

二、体の歪み：運動不足、背骨に歪み、体操不足。

三、心の歪み：感謝の気持ちがな

い、心身一如、心の健康、生きる幸福のささえ。

農業—食べものを作っている健康な農業の在り方。

農業の発展—生きがい、心の発展。

ふれあいを

姉妹もお互いに心をこめて出しあう



手は手でなければ洗えない。人に健康をすすめるには、自分が健康でなければならぬ健康医学とは、自分の生活を直す、自分がかみとるものを

生活学校よりお願い

おとうふの販売店の皆様

■おとうふは、直射日光のあたらないところへ置いてください。■おとうふをビニール袋に入れて

冷蔵庫に保管して、販売してくださっているお店が多くなり有難く思っております。

■おとうふを水槽の中に入れて販売しておられるところは、一方から水はいり、一方から水が流れ出る灌水装置を利用してください

たまり水の中におとうふを入れておかないようにしてください。

また、清潔な手であつかってください。

■鹿児島では、十月一日よりおとうふに製造年月日がいりようになります。加治木でもよろしく

お願いいたします。

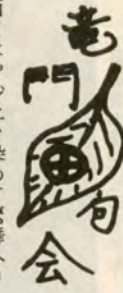
おとうふを買われる皆様も、販売店へお願いしたことにより御協力ください。そして造る人

売人、買う人三者一体になり、よ お店を育て住みよい町、住みよい地域社会をつくりましょう。

▼おとうふを買ってこられましたら、一度洗ってから自宅の冷蔵庫へおいしくください。

▼生活学校運動は、学習したことを実践活動にうつし、また実践活動しては学習し、一人で解決できない問題を多くの人と解決し、学ぶことにより私達の考えをかせ実路活動を継続し幸な生活を送ってまいりましょう。

▼諸物価値上げの波が台所に押し寄せています。荒れ狂うインフレのあらしを直視し、円高の秋をのりきって参りましょう。



西日はや砂丘を染めて鷹舞へり

井之上透山

見はるかす芒の海に日は斜め

曾木 柳田

病む床に力つけよととろろ汁

伊丹 司臈

秋深し独学の苦楽重ねつつ

田代 俊泉

秋冷や肩寄せ合へる埴輪たち

横山 江南

秋霜の宿に借り着を重ねけり

宮脇 思川

秋深し老いゆくままの医師通ひ

松永 愛子

たばこは 町内の お店で 買いましょう

菊の天短かく響く矮鶏の関

恒吉 斗南

鴉鳴いて暁天青を深くせり

是枝 快春

初時雨しばし落暉の華やかに

三浦 ゆう

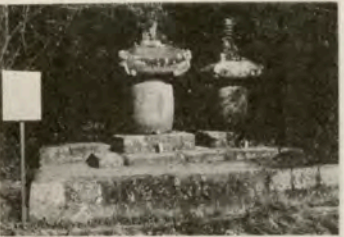
桜紅葉調教進む二才駒

鶴田 耕

大石塔二基

日本山 里ノ下

文化財めぐり



日本山の日枝神社前(焼山坂入口)にある。北側石塔は寛元元年(一二四三年)発卯七月、南側石塔は仁治参年(一二四二年)壬寅三月二十五日建立されたもので、鎌倉時代の石塔では九州で最高のものである。この石塔は加治木氏十代加治木八郎親平夫妻の霊をともろうため、子孫のものが建てた供養塔であらうといわれている。

おすしをプレゼント 筋ジスの子どもらに



記録更新をねらって食べる子供ら

十一月一日の「すしの日」にちなんで、町内のすし屋さん三店（吉本広樹、郡山薫、的場二生）はこのほど、南九州病院に入院している指宿養護学校加治木分校（筋ジス）の子供と重度心身障害者など約百五十人に、おいしいすしをこしらえた。

このプレゼントは今年で四回目。米や漁、のりやワサビなどは町内をはじめ鹿児島や国分のお店屋さん協力。板前さんたちは炊きたてのごはんを新鮮なネタで威勢よくにぎり、子どもたちに腹いっぱい食べてくださいと大はりきり。子どもたちは一年ぶりのすしのごちそうに、時間前からそわそわ今年も何コは食べられると、ワサビのからさもなんのその、おかわ

りを出していた。ある子供はお皿いっぱいすしに先生がおねだりすると「やらない」と一人じめするほど皆んなはおすしが大好物

ロードレース大会

一般女子も初参加

「天高くスポーツの秋」にふさわしい十一月六日、第八回町のロードレース大会は総合グラウンドに約三百五十人が参加して盛大に開かれました。

この日は、夜来の秋雨でコースも湿り、おまけに薄曇りで絶好のレース日好。グラウンドから海岸

私の好きなことば

世の中には、良き教訓語、良き指導語が数多くある。その中で「至誠」がすきだ。

「至誠」とは、自治・礼儀・規矩・謹勉・公德を言う。即ち自治の精神を養い、礼儀を正しく規律を重んじ、謹勉を主とし公德を旨とす。之を示すに至誠を以てす。「至誠」は天地の大徳、国民の大道なれば朝夕忘る可らず。

小学五年にして習い教えられ、これを実行し家訓として今日に至る。今尚、庄右の銘として居る。

小陣・井之上 影毛

この日もお腹いっぱいごちそうになった。

協力者：松本栄吉、田中慶二、伊地知藤助、丸正海苔、ヨシキ。

提坊へのコースをそれぞれきめられた距離で、低学年から一般（女子を含む）まで全員が完走、元気なところを見せました。今回は初めて四人の婦人も参加とおちゃんの声援をうけながら意気揚々と完走、お互いの健脚を喜んでいました。



⇒元気にスタートする低学年

成績は次のとおりです。

▼小学校低学年 男子①黒田龍児（錦江）②常盤政明（柁城）③樗木伸一（永原）女子①山口かおり（永原）②長友まき（柁城）③中尾久代（同）▼中学年 男子

老人ゲートボール大会

加治木チーム優勝・準優勝



優勝した加治木Cチーム
十一月十八日始良、伊佐地区老

交通相談所が移転 交通会館で業務開始

十一月二十六日交通会館が落成、交通安全に対する業務を開始した。今まで、本町（役場西隣り）で業務を行っていた加治木交通安全協会、交通相談所も、この新しい交通会館に移り業務を始めることになりました。

交通会館は加治木町港町（加治木港の入口）にあります

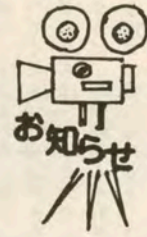


新築の交通会館

人ゲートボール大会が行われ熱戦のすえ加治木Cチーム（小山田）が優勝の栄に輝きました。

本町からは三チームが出場、加治木Bチームもよく健闘し第二位の準優勝を飾り、優勝と準優勝を勝ちとった。

優勝したチームメンバーは次の方々です。おめでとうございませう
増田勇吉 徳永時夫 後藤国雄 末吉イト 野老迫清 溝口キヨ 後藤エイト



道路の

舗装工事

国道十号線

(本町・朝日町間)

国道一〇号線(大同生命前から
榎園精米所前まで)の舗装修繕工
事が次の日程で実施されます。

工事期間中は住民の皆様、とくに沿線の皆様には車両の混雑や、工事機械の騒音等で大変ご迷惑をおかけいたしますが、道路を美しくまた交通の円滑化を計る目的から道路整備にご協力くださるようお願いいたします。

○工事の区間 本町(大同生命前)から朝日町(榎園精米所前)までの延長四〇〇メートル(別図)

○工事の期間 昭和五十二年十一月二十六日から昭和五十三年三月三十日まで。

○内夜間作業(予定) 昭和五十二年十二月十五日から昭和五十三年三月三十日まで。

年末年始の交通事故防止運動

十二月十五日～一月十日まで

- ① ゆっくり走ろう
- ② 飲酒運転の追放
- ③ こどもと老人の事故防止

町内で交通事故により犠牲となった方が四人になりました。

▼年末年始の気ぜわしい時期になります。歩行者も運転者もお互いに交通ルールを守り、譲り合いの気持ちで事故を起こさないよう、事故に合わないよう、自分で自分の生命を守りましょう。

これからは、特に飲酒の機会も多くなります。飲酒運転は絶対にやめましょう。車を運転する人に

は飲ませない。

▼こどもと老人の事故が増えていきます。こどもや老人の夜間の一人歩きは絶対にさせないように。なるべく夜間は歩かないようにしましょう。

特に、ヨチヨチ歩きする幼児には細心の注意と十分な監視が必要です。お母さんはもちろん、家族や周囲の人が気づいたら注意し、幼い生命を守ってやりましょう。

生徒募集

国立門司海員学校

国立門司海員学校では、昭和五十三年度の生徒募集を次のとおり実施します。希望者は早目に申請してください。

○募集人員 高等科(修業年限二年)約七〇名。司ちゅう科(修業年限一年)約六〇名。

○受験資格 ①年齢：昭和五十三年四月一日で十五歳以上十九歳未満②学歴：中学校卒業以上(但し五十三年三月中学校卒業予定を含む)

○入学試験 昭和五十三年二月十九日(日)午前八時三十分から

○試験科目 筆記試験(国語、英語、数学)身体検査及び面接

納税の固定資産税(第四期)

香典返しを

寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。(内は故人

町社会福祉協議会へ

曲田 東 ハナエ(夫弘之)

楠原 山下 シヅ(夫武男)

岩穴口 下津佐重美(父喜右衛門)

須崎 郡山 ヤエ(夫義人)

江口団地池田 行雄(長女祐子)

中福良後末吉 アサ(夫英輔)

毛上 大村 ナホ(夫清志)

新中 久保蘭ユミ(夫盛治)

錦江町 山上千鶴子(夫春喜)

一万円

一万五千円

一万円

一万円

一万円

一万円

一万円

一万円

一万円

一万円

一万円

柳田 丸岡 忍(妻キヨ子)

三万円

垂之口 中村 アキ(夫晃)

一万円

飯屋町 野山ミエ子(夫操)

五万円

端山 池 千尋(妻礼子)

一万円

毛上 大村 義春(母ワリ)

一万円

町育英奨学資金へ

一万円

岩穴口 下津佐重美(父喜右衛門)

一万円

新中 久保蘭ユミ(夫盛治)

一万円

垂之口 中村 アキ(夫晃)

一万円

町国民年金協議会へ

一万円

岩原西 大村 典和(父平治)

五万円

岩穴口 下津佐アカ(父喜右衛門)

一万円

垂之口 中村 アキ(夫晃)

一万円

十一月二十日までの寄付を掲載しました。

十二月の

在宅医



4日 平山医院 ②二四六八

11日 上妻医院 ②二四二二

18日 志岐医院 ②二二二二

25日 牧 医院 ③二二二二

■診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。

■当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください